

科目名	卒業研究ゼミナール I				担当	幼児教育学科教員		
形態	演習	単位数	1	開講時期	2年前期	実務経験	—	
必修	卒業：必修				ナンバリング	Y4102	DPとの関連	2・3
授業概要	保育にかかわるテーマを中心に、教育、福祉、心理、音楽、美術、体育などの分野について自分自身の研究テーマを決め、個人あるいはグループにより研究を進める。研究の方法、研究に対する姿勢を身につける。							
到達目標 学習成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身の研究テーマを設定し、そのテーマに沿って研究を進めることができる</li> <li>・テーマに沿った適切な資料収集・情報収集ができる</li> <li>・調べた内容を所定の形式にまとめることができる</li> </ul>							
授業計画	回	内容						
	1	研究を行う意義	自ら学び研究を進めることの意義を確認しつつ、卒業研究ゼミナールの進め方について理解する					
	2	保育にかかわるテーマ群への理解	保育にかかわるテーマにはどのようなものがあるのか、情報媒体やディスカッションを通して理解する					
	3	研究テーマの設定①	自分自身が進めていく研究テーマを設定する					
	4	研究テーマの設定②	自分自身が進めていく研究テーマを設定し、発表しあう					
	5	研究を進める上でのモラル	研究を進める上で求められるモラルについて理解する					
	6	研究方法の理解①	文献や資料の収集の仕方について学び、実際に調べる					
	7	研究方法の理解②	調査した内容のまとめ方について理解し、実際にまとめる					
	8	研究方法の理解③	アンケートや聞き取り調査の方法について学ぶ					
	9	研究方法の理解④	数値や統計の処理の仕方について学ぶ					
	10	論文の構成①	論文の構成について基本的な理解を得る					
	11	論文の構成②	自分自身のテーマを論文の形式にあてはめ、構成を考える					
	12	発表・ディスカッション①	各自が調べまとめた内容を発表し、ディスカッションを行う					
	13	発表・ディスカッション②	各自が調べまとめた内容を発表し、ディスカッションを行う					
	14	発表・ディスカッション③	各自が調べまとめた内容を発表し、ディスカッションを行うお互いに評価しあう					
15	研究テーマの省察	授業を通して深めた研究テーマについて省察を行い、よりよいものにする						
評価基準	①目的をもって意欲的に研究に取り組めたか ②研究を進める上での基本的事項を理解し発表資料を作成できたか							
評価方法	その他 100% (研究への意欲・態度 40%、提出物 30%、発表 30%の割合で点数化し、評価を行う)							
フィードバック 方法	課題を確認したら、授業内で返却する							
アクティブ ラーニング	調べ学習、グループワーク、ディスカッション							
教科書	ゼミ担当教員の指示する書籍・資料							
参考書	ゼミ担当教員の指示に従うこと							
履修条件	前年度の卒業研究集を一読し、自分が卒業研究で取り組みたいテーマを明確にしておくこと。研究によって新しい知識を得て、よりその知識を深め、充実した卒業研究にすること。また、その研究を通して一つの問題をあらゆる角度から考える方法を学び、普遍的立場から物事を判断する能力を身につけること。							
授業外学習	事前学習：教材研究や模擬保育のプランを明確にするために、保育雑誌や図書館の資料に目を通す 事後学習：ディスカッション等を通して得た学びを記述する							
オフィスアワー	各担当教員のオフィスアワーを確認すること							